学群プログラム・受講生の声

事業構想学群

今回、私自身初めてフィールドワークを行い、やはりインターネットや冊子で見るその地域の情報と実際に足を運んで感じる情報は全く異なることを感じた。少子高齢化が顕著となり、地域の魅力を知り尽くした高齢者の方から地域の情報を私達のような若年層が継いでいかなければ町の発展は難しい。今回のフィールドワークで学んだ地域、そして町づくりについての基礎知識を元に、今後地域の発展のために尽力していきたいと考える。

看護学群

将来看護師を志すものとして、高齢者の看護の需要が上がっているので、いつまでもその地域で元気に活動してもらうために高齢者の看護に携わることも大切だと考える。また、地域とのつながりの大切さから、地域に寄り添う看護が必要だ。現在の医療は、医療従事者・患者・地域の繋がりが大切になっている。講義を通して、その繋がりの大切さを改めて認識することができた。

食産業学群

商業ビルにあった掲示板に『野菜を出品しませんか？』という記事を見つけた。普段、食材が整然と陳列された大型スーパーで購入している私にとって、この掲示板はとても衝撃的であった。生産者と小売店間の「流通」の部分を見ることが出来たのである。生産者の声が聞こえてくるかの様な安心感に加えて、食材を安く購入できる点にも魅力を感じた。地産地消が叶えられる、地域の農産物チェーンこそ、地域の誇れるものだと思う。

履修登録について

学群プログラム

地域フィールドワーク・CP科目は全学群を対象に開講しています。

全学群（看護学群、事業構想学群、食産業学群）において、基盤教育科目「地域フィールドワーク」と「CP概論および演習」が卒業要件単位として認められ、前期の履修登録単位数に含まれます。「CP実践論」「CPフィールドワーク演習Ⅰ」「CPフィールドワーク演習Ⅱ」は卒業要件単位には入りません（地域創生学類を除く）。

なお、看護学群生が、CP科目の「CP実践論」「CPフィールドワーク演習Ⅰ」「CPフィールドワーク演習Ⅱ」を履修する際には、他学群履修の扱いとなります。詳細は履修ガイドを参照してください。

大学院プログラム

看護学研究科生および食産業学研究科生が、大学院CP科目の「CP特別演習」「CPプロジェクト研究」を履修する際には、他研究科履修の扱いとなります。詳細は履修ガイドを参照してください。

お問い合わせ

宮城大学
地域連携実践教育推進室
大和キャンパス

宮城県黒川郡大和町学苑1-1
TEL.022-377-8649
（受付時間／平日9:00～17:00）
Email : cp-suishins@myu.ac.jp

（2022.2000）

宮城大学地域連携実践教育プログラム　2022

地域とともに学ぶ。

地域連携実践教育プログラム

【全学群・研究科対象／フィールドワーク系科目】

地域フィールドワーク　コミュニティ・プランナープログラム

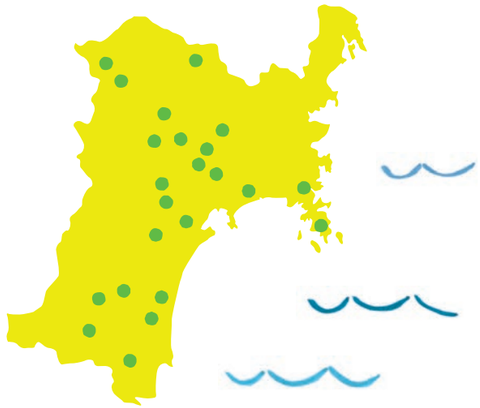
公立大学法人
宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY

東北・宮城の
生きる力をつむいで、
地域とともに歩む。

宮城大学では、地域の歴史・文化・資源を活かした
コミュニティづくりや、地域の人びとととともに
課題解決ができる人材（コミュニティ・プランナー）の育成を目指す
教育プログラムを学群と大学院のそれぞれで実施しています。

地域コミュニティの現場に触れ、自らの目でみて・聞いて・体験し、
学習することで、地域の人びとととともに考えながら、
地域本来の良さを活かした、これからのコミュニティづくりの
実践手法を習得していきます。

＼ フィールドは宮城県全域 ／



**地域の再生・発展には、人と人とのつながりが大切。
だからこそ求められる、コミュニティの未来を創造する力。**

▶ コミュニティ・プランナー／コミュニティ・プランナー（CP）プログラム

現在、公共機関のまちづくり分野、福祉や医療、商業や農業など、あらゆる分野において、地域主体の視点を持った人材が求められています。

本プログラムにおけるコミュニティ・プランナーとは、地域が抱える多様な課題の解決や、地域が求める多様なコミュニティづくりに貢献できる人材を指します。

このような人材を育成するために、阪神・淡路大震災および東日本大震災からの復興に取り組んできた兵庫県立大学と宮城大学が連携し、被災地に立地する公立大学として互いの強みを生かしたプログラムを展開しています。

▶ 単位について

学群プログラム

基盤教育科目の「地域フィールドワーク」1科目1単位、CP科目の「CP概論および演習」「CP実践論」「CPフィールドワーク演習Ⅰ」「CPフィールドワーク演習Ⅱ」の4科目6単位、各学群既存科目である「CP関連科目」のうち2領域以上から7科目13単位以上を履修します。合計20単位以上を履修することで卒業時に宮城大学と兵庫県立大学の学長の連名で『コミュニティ・プランナー　アソシエイト』の称号および証書が授与されます。

大学院プログラム

事業構想学研究科博士前期課程において開講している「CP特別演習」「CPプロジェクト研究」の2科目4単位を履修することで、修了時に『コミュニティ・プランナー』の称号および証書が授与されます。

▶ 学びの特徴

地域住民視点での学び

専門家視点での学び

地域のステークホルダーと連携したフィールドワーク

本プログラムでは、第一線で活躍する専門家とともに、自治体や企業・NPO等の地域社会のステークホルダーと連携したフィールドワークを取り入れることで、より社会に貢献できる実践的な能力を育成します。

社会で必要とされる実践的な能力を養成

- 調査・分析能力
- 企画力
- 実行力
- ファシリテーション能力
- プレゼンテーション能力
- 事業マネジメント能力

GREENの視点

持続可能（サステイナブル）な地域コミュニティを構築し、維持してゆくためには、緑ある環境をベースにして、人、植物、動物、全ての生命（いのち）がつながり、関わり合うことが必要です。このような、すべての生命（いのち）のつながり、関わりを意味するものを「GREEN」として、本プログラムにおける新視点として設定しています。

▶ 学群プログラム・カリキュラム概要

基盤教育科目【全学必修科目】

1年　フィールドから学びや気づきを得る
地域フィールドワーク　前期｜1単位

地域の自然・歴史・文化等を学びながら、グループワークやフィールドワークを通して地域の魅力や課題など、様々な気づきを促します。地域社会の将来に対する使命感を涵養し、今後の大学生活における主体的な学びに向けた動機づけとすることを目指します。

CP科目【選択科目】

2年　必要な基礎知識の習得
CP概論および演習　前期｜2単位

調査・企画力、ワークショップ運営やヒアリングの技術など、コミュニティ・プランナーとしてフィールドに出た際に必要なリテラシーを学び、地域の方々のパートナーとして課題解決に貢献できる基礎技術の習得を目指します。

トップランナーから実践を知る
CP実践論　後期｜2単位

地域コミュニティに関わる専門家とのフィールドワークや講義による事例把握、実体験を通じて、地域活性策を実行するプロセスへの理解を深め、より実践的な知識や技術の獲得と学びの深化を目指します。

3年　知識を技能に変える実習
CPフィールドワーク演習Ⅰ　前期｜1単位
CPフィールドワーク演習Ⅱ　後期｜1単位

コミュニティを再生していく実践的な経験を通して、コミュニティ・プランナーとしての職能を理解しながらステークホルダーとの協働手法や地域課題解決の実践手法を習得します。

＋

CP関連科目【選択科目】

各領域の知識と理解を深める
CP関連科目

2領域以上から7科目13単位以上を選択必修

グリーンケア・グリーンビジネス・グリーンデザインの3領域のうち2領域以上から7科目13単位以上選択します。主専攻に近い領域だけではなく、他領域についても学ぶことで、コミュニティ・プランナーとしての知識や技能を深めます。

※詳細は履修ガイドを参照してください。

グリーンケア
- 人間発達学
- 人間関係論
- 臨床心理学
- 災害活動論
- ライフステージ看護学概論Ⅰ・Ⅱ
- 地域看護学概論
- 食品衛生学
- 栄養科学

グリーンデザイン
- 国土・地域計画
- 防災計画
- 都市と文化
- 都市計画
- 風土・伝統デザイン
- 景観工学
- 地区・街区計画
- 農業農村振興論
- フードコミュニケーション
- 食文化論

グリーンビジネス
- 公衆衛生学
- 地域活性化とビジネス
- 地域企業論
- 社会調査法
- 地域分析学
- 地域産業政策
- ツーリズムデザイン
- 食品マーケティング基礎
- ローカルフードシステム論
- 食料・農業・農村政策

※科目名は一部抜粋。

コミュニティ・プランナー　アソシエイト　（卒業時に称号および証書授与）

▶ 大学院プログラム・カリキュラム概要

CP科目【選択科目】

1年・2年　科学的手法の実践力・応用力の習得
CP特別演習　前期｜2単位

各専門分野に基づく事例研究や実地研究を通じて、コミュニティにおける課題・ニーズの調査手法や、コミュニティとの協働手法など、科学的手法の実践力・応用力の習得を目指します。

効果的なプロジェクトの構想と提案
CPプロジェクト研究　後期｜2単位

地域やプロジェクトに対する精緻な分析を踏まえて、効果的なプロジェクトの構想と提案を行い、地域課題の解決に資する構想力や実行力といった地域社会に貢献できる高度な実践力の習得を目指します。

コミュニティ・プランナー　（修了時に称号および証書授与）